

りそな経済フラッシュ (日銀の追加利上げの思惑)

 2024年4月24日
りそなHD 市場企画部
担当: 莉谷

1 好調な春闘が追加利上げの観測へ

3月の大企業の回答が中心だった第1回集計結果以降も、春闘における前年比の賃上げ率は高水準を維持しており、賃上げが中小企業にも広く波及していることが確認されている。(右図①)

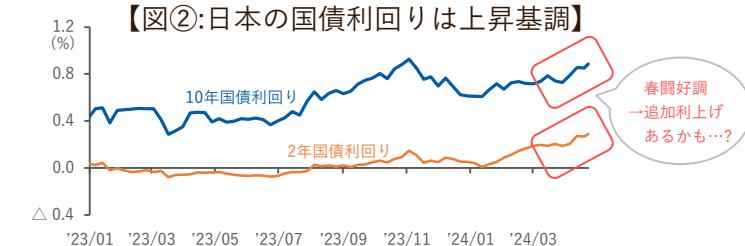
この動きを受けて、市場では早くも日銀の追加利上げ観測が高まっている、日本の国債利回りの上昇基調につながっている。(右図②)

エコノミスト等をはじめとした市場参加者への調査では、10月の追加利上げの予想が最も多く、早ければ7月利上げとの指摘も聞こえている。

2 4月日銀会合は現状維持だが…?

4月25・26日の金融政策決定会合では、マイナス金利を解除して間もないことや、春闘の結果を反映した賃金・物価のデータが得られない中での追加利上げは実施しづらいとの見方から、政策金利の据え置きが予想されている。

一方で、歴史的な円安進行をうけ、国債の買い入れ金額の減額や追加利上げのヒントを示唆する等による円安けん制への警戒感も燻る。植田総裁の下でのこれまでの会合では、黒田前総裁のような“サプライズの政策修正”は行われず、事前の観測報道で市場に周知を行ってきた。しかし、今月は買い入れ減額や追加利上げを示す等の観測記事は見られていない。金融政策の正常化に踏み出した日銀が今回“サプライズ”を行うのか、市場の視線が集まっている。(右図③)



【図③:今回の会合の注目点】
政策金利の据え置きやインフレ見通し上方修正は織り込み済み

	現状	4月会合
政策金利	0.0~0.10%	現状維持
国債 買い入れ	月6兆円程度	減額?
	2024 2025	2026 (新公表)
展望 レポート	インフレ 見通し 2.4% 1.8%	上方修正? 2%程度?
	GDP 見通し 1.2% 1.0 %	下方修正? ?
植田総裁 記者会見	-	今後の追加利上げに 関するヒントに言及?

出所:各種報道、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。